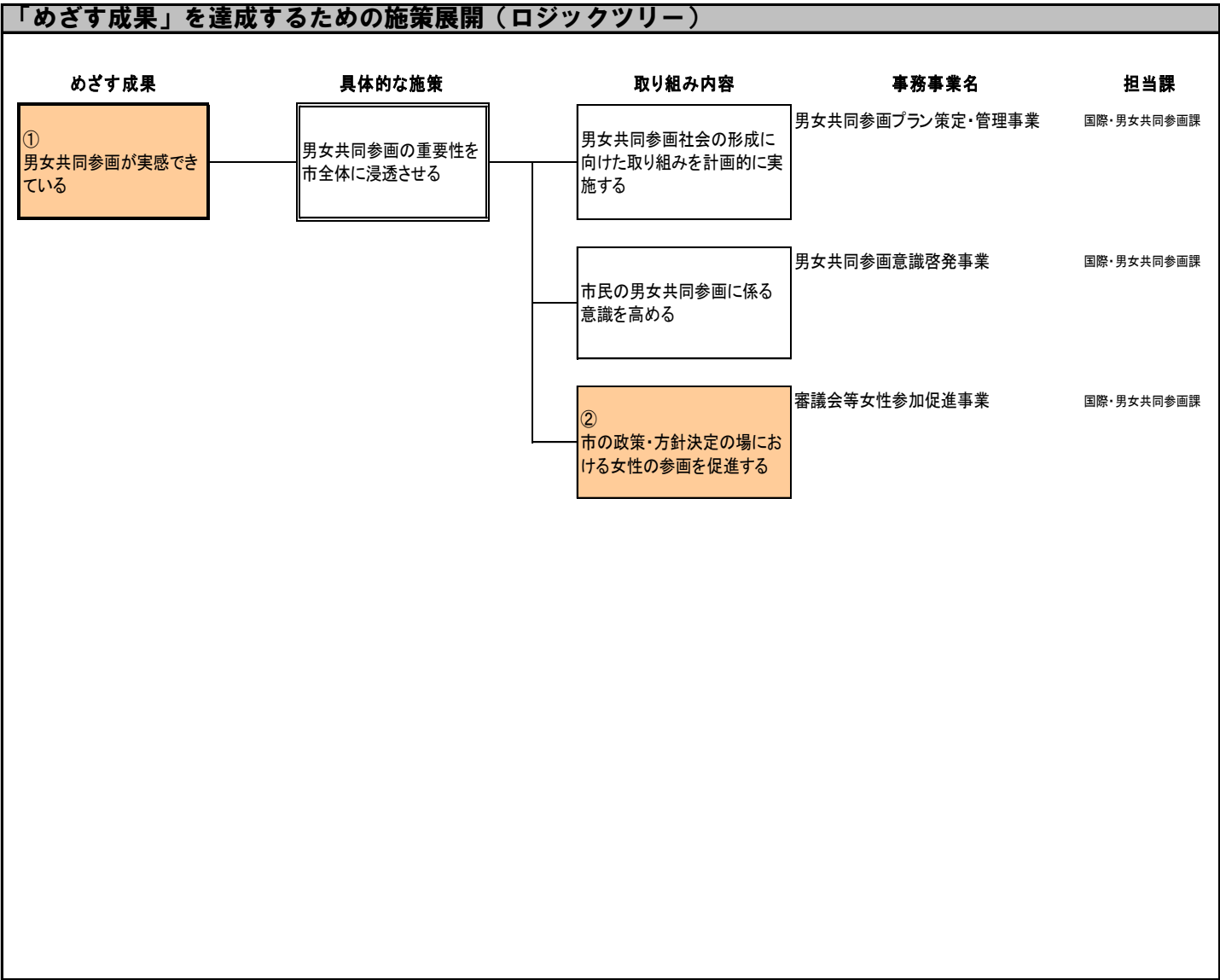


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
7-1-2 男女共同参画が実感できている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち
	個別目標	互いに認め合う社会をつくる
	めざす成果	男女共同参画が実感できている 男女がそれぞれの能力を十分に発揮し、家庭、地域、職場、政策決定の場など、あらゆる場面で協力し、社会の発展を支えています。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②	
男女が平等であると感じる市民の割合		審議会、委員会などにおける女性委員の割合	
計画策定時 現状値	18.1%	計画策定時 現状値	24.4%
実績値 (H22)		実績値 (H22)	24.0%
中間目標値 (H23)	35.0%	中間目標値 (H23)	50.0%
目標値 (H25)	35.0%	目標値 (H25)	50.0%

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート	
主な取り組み内容	【男女共同参画の重要性を市全体に浸透させる】 ・男女共同参画社会の形成に向けた取り組みを計画的に実施するとともに、中でも男女共同参画を男性の視点から捉え、男性の理解に向けた働きかけを行いました。 ・第2次やまと男女共同参画プラン（平成24年度から30年度の7年間）の策定に向け、公募及び関係団体推薦の委員による第2次やまと男女共同参画プラン策定委員会を設置するなどの準備を開始しました。 ・男女共同参画意識啓発事業を企画実施する公募委員を起用し、事業の企画、運営を行いました。 ・男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動期間等の時期を捉えて、男女共同参画市民セミナーや、デートDV防止セミナーなどを実施し、男女共同参画に係わる意識の向上に努めました。 ・男女共同参画フォーラムを開催し、男女共同参画への取り組みの意義を広く市民に訴えました。 ・女性委員の参画率が30%に満たない審議会等の事務局に対し、ヒアリングを実施して原因の究明を図るとともに、女性委員の参画促進に向けた対策を実施するよう要請しました。

構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	・第2次やまと男女共同参画プラン策定委員会における審議を踏まえるとともに、庁内組織である男女共同参画行政推進会議（特に調査、研究するためのアクティブ・スタッフ会議）を活用しながら、第2次やまと男女共同参画プラン（平成24年度から30年度の7年間）を策定します。 ・第2次やまと男女共同参画プラン策定後、懇話会を設置し、成果の達成度を測るための指標に従ってプランの適切な進行管理を行っていく必要があります。また、男女共同参画は多岐の分野にわたるため、推進にあたっては市民参加を図る必要があります。
-------------------------	--

今後の展開方針		注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充	・第2次やまと男女共同参画プランの策定を行うとともに進行管理を行う組織の設置を検討します。	（該当する事務事業） 男女共同参画プラン策定・管理事業
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化	・DVやセクハラ問題など、人権識啓発事業と共通する項目について、連携を図っていきます。	（該当する事務事業） 男女共同参画意識啓発事業
その他見直し		（該当する事務事業）

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	・男女共同参画の推進にあたっては、総合計画等において審議会における女性委員の割合を全体で50%とする目標を掲げているものの、達成されていない状況にあります。目標の達成に向け、充て職の考え方を見直すなど、真に必要な人材を配置するための具体的な取り組みの検討が必要と考えます。 ・少子高齢化と人口減少が進んでいく中では、女性が職場や地域において活躍できる環境を整える必要があります。女性が審議会などに参加し易くなるよう、会議中に子どもを預けられる環境づくりなどの検討が必要と考えます。